

2022年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding&沖縄フィールドワーク

目的 世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める。日本の学生、留学生、青年が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論ができる力を育む

対象 学生一般(大学生、大学院生、留学生など)

内容 沖縄フィールドワークおよびCEN Aウェブスクールへの参加を前提に事前学習を実施。沖縄フィールドワークは沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学ぶ体験型学習で5月ゴールデンウィーク中の3泊4日を予定

■オンライン・CEN A (Civil Society Education Network in Asia) 夏期学校ウェブスクール (共催)

目的 アジアの歴史を学び、各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合う

対象 学生一般(大学生、大学院生、留学生など)、青年

内容 2020年度当初は台湾でのプログラムが予定されていたが、20年度と21年度はコロナ禍によりウェブスクールでの開催となった。各大学・団体担当者間で意思決定するが、ウェブスクールとして開催する見込みが高い

参加団体：恵泉女学園大学、聖心女子大学、沖縄キリスト教学院大学、韓国・聖公会大学校、韓国・韓信大学校、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA、早稲田奉仕園

日程：6～8月事前学習

8月ウェブスクール開催(予定)

9月事後学習

10月報告書発行

■日中大学生による相互交流ワークショップ

目的 相互交流ワークショップを通じて、異なる文化や価値観を受容することができ、国際的視野が広がるといった参加者の成長、グローバル人材としての向上を図る

対象 現役大学生および大学院生(若手)

内容 訪中国際交流ワークショップ in 中国延辺

中国の民族大学である延辺大学を訪問し、ポストコロナの交流のあり方を模索するため、少人数で訪問する。現地の大学生とワークショップや発表会を行う。講演、ホームビジット、ゲストスピーカーとして授業参加等を通じて、現地の文化的背景や歴史、習慣等への理解を深める。

日時：2022年8月25日～9月2日

場所：中国・吉林省延辺朝鮮族自治州

■長崎フィールドワーク【新規】

目的 異郷を感じる地、原爆被害にあった地などで知られる長崎で歴史がどのように語り継がれているのかをめぐるフィールドワーク

対象 社会人、学生

内容 長崎周辺のいくつかの現場を訪ねて、取り組んでいる課題や実践の状況を学ぶ

期日：10月中旬

定員：15名程度

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的 留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進する。日本の大学生と留学生が交流できる場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。日本語ボランティアの会に参加する在日外国人の方々にも歌舞伎鑑賞などを通じて、文化体験の機会を提供する

対象 国際学舎に居住する留学生および早稲田大学留学生、大学生一般、日本語ボランティアの会学習者

内容 7月 Discover KABUKI 歌舞伎鑑賞@国立劇場(日本語ボランティアの会学習者と合同)
(開催日未定) 隅田川花火大会見物@日本基督教団東駒形教会

1月 餅つき(早稲田教会と合同)

通年 カフェを月2回(3号館1階ロビーにて、第1・第3金曜日夕方)開催し、季節ごとにイベント(茶道、七夕、生け花、書き初め、豆まき、ひな祭りなど)も行い、日本と外国人留学生が交流できる機会、ボランティアスタッフへ留学生活の悩み相談などをできる機会を作る

■オンライン・多文化共生のためのボランティア講座ー地域における日本語学習支援について学びましょう

目的 多文化共生社会は、異なる国や地域にルーツをもつ人たち、異なる言語を使う人たち、異なる背景をもち、異なる問題を抱える人たちが、互いに尊重し合い、対等な関係で生きられる社会ととらえ、地域における日本語教育が多文化共生社会の創生に資するためにボランティアは何ができるのかを模索し共に学ぶ日本語教育のあり方を考え、

試みる

対象 社会人、学生

内容 オンデマンドとオンタイムオンライン授業。最終課題でレポート提出し、講師からのフィードバック

期間：年度後半開催。オンデマンド配信(1時間程度)7回、オンライン授業(1.5時間)8回、対面クラス(2時間)2回

講師：福村真紀子(親子サークル「多文化ひろばあいあい」代表、東京外国語大学非常勤講師、日本語教育博士)

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

目的 日本語の学習を必要とする人に日本語学習の支援をするとともに、国際交流を深める

対象 ボランティア講師：奉仕園日本語教師養成講座修了者など

学習者：日本語学習を必要としている10歳以上の方どなたでも

内容 「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。ボランティアが足りない場合は公募する。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行い、豊かな交流を図る。ボランティア講師の研修会等も実施する

開講日：水曜日3クラス、金曜日1クラス

■野宿者支援給食活動（共催）

目的 野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通して、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる

対象 大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容 約150人分の食事、保存食、支援物資を準備、渋谷にて配食活動。偶数月にはボランティアの弁護士や司法書士による相談会を行う

日時：月2回(原則第2、第4日曜日)午後から夕

共催：日本キリスト教団早稲田教会

協力：NPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校ほか

■災害被災者支援ボランティア活動

災害発生時、信頼できる受入先がある場合に初期のボランティア活動に参加し、被災地や被災者の状況を知り、共に生きる社会を実現していく。防災や減災の意識を醸成し、自然災害に対してどのように向き合っていくか、自助と共助の精神を養う

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■オンライン・アジア語講座

目的 1973年創設のアジア語講座を引き継ぎ、アジア関係の文化を紹介する場を提供する

対象 社会人、学生

内容 Study Hallの一環でイベントを開催する。映画上映会やギャラリー展示などを企画し、語学にとどまらず広くアジアの文化紹介を行う

■Let' s 朗読

目的 朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、普段の生活に張りを与える。詩や物語の世界で感性を磨く

対象 社会人、学生

内容 ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。各期の終わりにはミニ発表会などをする

期日：前期・後期の2期制各期8回

講師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

■オンライン キリスト教文学に学ぶ(共催)【新規】

目的 明治期以降の日本文学にキリスト教は大きな影響を与えている。代表的な作家、作品を読み解き、日本におけるキリスト教思想の受容を探る

対象 社会人、学生

内容 緒論キリスト教文学とは何かに続き、井上ひさし、遠藤周作、山本周五郎、芥川龍之介、大岡昇平、三浦綾子、北條民雄、柳田邦夫等の作品を読む

講師：柴崎聰(文芸評論家)

期間：4月より月1回、全10回の講義

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■オンライン キリスト教と美術(共催)【新規】

目的 美術、特に西洋美術において、キリスト教や聖書は大きなテーマである。美術作品を通じて見えてくる作者の信仰、キリスト教思想等を学びより深い鑑賞へと導く

対象 社会人、学生

内容 画像、映像を使用し美術作品に表されているキリスト教表象の読み解き、作者の信仰等について学ぶ

講師：太田智子(山梨県立美術館学芸員)

期間：毎月最終月曜日を予定

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■スコットホールでゴスペルを歌おう

目的 声をしっかり出し歌を歌うことにより元気になる。メンバーとのコーラスワークでハーモニーを楽しみつつ、習った歌をプログラムに組み込んで地域やデイケアなどの施設でボランティアとして披露する

対象 社会人、学生

内容 スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。クリスマスには発表会を開く

期間：シーズン1(4月～6月)、シーズン2(7月～9月)、シーズン3(10月～12月)、
シーズン4(1月～3月)各シーズン7回

イベント：介護老人ホームなどでのボランティアプログラム(8月・12月)、スコット
ホールクリスマス発表会(12月9日)

講師：藤田聖子(プロシンガー)

■パイプオルガン・アカデミー

目的 キリスト教会での奏楽者のスキルアップ、キリスト教音楽への理解の促進、パイプオルガンのレパートリーを増やす

対象 礼拝奏楽者、オルガン愛好者など社会人、学生

内容 プロのオルガニストによる個人レッスンと演奏発表会

期間：レッスン日を講師と設定しながら

講師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協力：早稲田教会

■オンライン・マルコ福音書をじっくり読む - 第5期 (共催)

目的 聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる

対象 学生、社会人

内容 2018年度からの継続で「マルコ福音書」9章33節以下を丁寧に読み進める。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、障碍の神学、環境神学などからの新しい読み方も紹介する

期間：毎月第2火曜日全10回

講師：山口里子(聖書学者)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■オンライン・日本キリスト教史を読むⅡ大正編 (共催)

目的 第Ⅰ期明治編に続き、大正時代に日本のキリスト教をリードした人々の信仰を学び、現代社会のあり方を考える

対象 学生、社会人

内容 山室軍平、中田重治、高倉徳太郎、金井為一郎、賀川豊彦、植村環、矢内原忠雄の生涯とその信仰理解に遡って考える

期間：毎月第2木曜日全7回

講師：戒能信生(日本基督教団牧師、日本聖書神学校等講師)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター・関西セミナーハウス活動センター

■STUDY HALL!

目的 講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み

対象 社会人、学生

内容 臨機応変に設定できる講座として、共催や持ち込みプログラムを取り込んで講座の幅を広げたい。また、寮に滞在の留学生・研究員を講演者にしたり、セミナーハウスのチャリティー古本市との連携も視野に入れて企画したい。状況を見ながら、オンライン開催にも柔軟に対応する

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

目的 イエス・キリストの奉仕の精神に基づき、広く国際的視野に立って、学生・留学生および社会人に対し、学びと交わりを通しての人間形成の場を提供。充実した学生生活の確立に向けた支援

内容 舎生数：4年生の3名、3年生2名、2年生2名に加え新1年生・2年生最大6名募集

活動 朝の会：学期期間中の月曜日から金曜日実施。聖書講読ほか学生発表

舎生会：毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う

年間活動：新入生を含めたオリエンテーションを実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。入舎式・卒舎式をはじめ、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこないながら自己研鑽をする。教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをしていく。古賀博牧師、大矢直人牧師に聖書講読のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただく

■キリスト教学生寮懇談会

目的 キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び合い、寮運営の充実をはかる

対象 都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在 10 団体)

内容 懇談会をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

■ゲストハウス

目的 関東近郊の大学に在籍する外国人留学生が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 関東近郊の大学に在籍する学部、大学院の外国人留学生

内容 1号館2階201～207号室計7部屋を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

目的 早稲田大学の外国人留学生、研究員が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員

内容 5号館2階～4階、3号館2階～12階、1号館3階301～304号室、4階404～415号室計152室を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める

退寮 2月上旬及び8月上旬

入寮 3月中旬及び9月中旬入寮オリエンテーションはオンライン(居住者向けのポータルサイト)で実施

避難訓練実施(3月、9月の入寮時)

Cooking Exchange program 教室(6月、10月)

クリスマスカード送付(12月)

ホームビジット(6月、11月実施)

■健康相談室の運営

目的 寮居住の留学生、友愛舎生、研究員が心身とも健やかに生活できるように、看護師、医師、臨床心理士がサポートする。既往歴のある居住者には必要に応じて面接をし、現在の病状を把握し通常の生活ができるようにサポートする

対象 早稲田大学の外国人交換留学生・外国人研究員、友愛学舎生、ゲストハウス生

内容 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため対面相談は当面休止し、予約制でのオンライン相談を行う。また今後の状況に合った相談室のあり方を検討していく

相談可能日時：火・木・土・日 13時～17時(カウンセラーと調整して相談日を決定)

■ウエルカムパーティー&奉仕園クリスマス会

目的 留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 ウエルカムパーティーは4月及び9月の入寮時に実施。9月はJapanese Nightとして友愛学舎がホストを務める。クリスマス会は12月11日に開催、寮生によるアトラクションや静かなひとときを中心に交流パーティーを実施

■留学生スキー研修@万座温泉

目的 硫黄濃度日本一の万座温泉を訪れ、スキー・スノーボードを体験し、温泉につかりながら疲れを癒す。留学生と友愛学舎・信愛学舎などの日本人学生と合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする

対象 留学生、友愛学舎及び近隣学舎の日本人学生、15名程度

内容 期日：2023年1月成人の日前後1泊2日を予定

プログラム：スキー・スノーボード体験、温泉体験、交流会など

■ホームビジット

目的 日本人家庭を訪問し、一般的な日本人の暮らしを体験する。ホストファミリーとして迎えていただくご家庭には、異文化、異世代の若者と交流することにより、新しい出会いを楽しんでいただく

対象 早稲田奉仕園寮留学生

内容 ホストファミリーとして留学生をご自宅に招いてもらい、食事を一緒にし、近所の公園、スーパーマーケットなどを案内。留学生の関心に合わせて、一緒に食事を作ったり、お茶、活け花などのプログラムやおしゃべりを楽しんでもらう

期日：ホームビジット(6月、11月実施)

協力：早稲田奉仕園OBOG、早稲田教会、日本語ボランティアの会、稲門会ほか

■Cooking Exchange Program

目的 各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 10月、3月にボランティアによる日本料理体験教室を予定

■第5回留学生インスタグラム写真展

目的 外国人留学生によるユニークな視点で撮影された写真を展示することで、日本や自国について多様な視点から新しい一面が発見され、相互理解を深め、交流促進に役立つ

対象 日本に住んでいる海外からの留学生

内容 応募期間は4月1日から5月15日。SNSインスタグラムでテーマに沿った写真を投

稿してもらおう。写真家北田英治氏と早稲田奉仕園で入賞作品の選考を行い、6月に表彰式をする

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館万座温泉ホテル

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

目的 収益事業として財団運営を財政的に支える。施設の利用提供による早稲田教会及び東京平和教会の教会活動の支援

内容 月極駐車場 42 区画及びNGO団体ほかへの事務所等賃貸をおこなう

■早稲田大学染谷国際会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■セミナーハウス施設の貸与

目的 当財団の収益部門を担い、財団の運営を円滑にするため一定の収益を確保する。歴史的建造物のスコットホールの動態保存、利用者の文化活動、施設修繕等を通じて奉仕園の認知および利用の拡大を目指す。年末年始・大型連休を除く毎日営業

対象 一般、法人、学生、非営利組織等

内容 会議室、ホール、ギャラリーの貸し出し、撮影利用の受入

改修・設備更新 スコットホール地下会議室はレンガ壁を生かした内装に改修する

■セミナーハウスプログラム

目的 文化的イベントの主催、公益活動実施団体への協賛を通じて、市民活動の活性化をはかる。また、スコットホールの文化財としての価値を高める

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示

チャリティー古本市年 2 回(収益は公益団体へ寄付)、東京都文化財ウィークに参加しスコットホール公開。新宿区と連携し、スコットホールの文化財(登録有形文化財、重要文化財)登録へ向けて資料整理や条件を整えていく

3. 事業共通業務

■業務管理システム更新

2021年度に引き続き法人内オンラインシステムの改善をはかる

■資料保存

文書資料のデータ化、画像映像のアーカイブ保存の基本方針策定に着手する

■広告・宣伝

セミナーハウス事業でのネット検索サイトの活用を強化する。フェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの導入を進め、早稲田奉仕園の情報発信力を高める

4. 法人総務

■広報

奉仕園通信の発行年2回を予定

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

ワーキンググループ会議：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する

■監査

監事監査(5月、11月)、公認会計士監査(5月、11月)、公認会計士実査(4月)

■早稲田正午礼拝

近隣教会、団体有志による礼拝。状況を見て再開時期を検討

■キリスト教施設長会

施設長会議を2023年1月または2月に開催予定

■ベニンホフ記念館竣工・セミナーハウス開設50周年及びスコットホール献堂100周年事業及び募金

スコットホール地下会議室天井補強、内装改修工事及び1階事務所床防音工事を実施。引き続き2022年7月まで記念事業実施のため募金を実施する

5. 資金調達及び設備投資

■資金調達

借入れの予定はないが、当座貸越の極度額を 5000 万円に引き上げる

■おもな設備投資

| | | |
|--------|----------------------------------|-----------|
| 建物建設支出 | スコットホール地下会議室改修及び1階事務所床修繕工事(収益事業) | 5,200,000 |
| 構築物支出 | 3号館エレベーター修繕工事(公益事業) | 1,500,000 |
| | 3号館ポンプインバーター交換(公益事業) | 800,000 |